

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-4-1		事業名	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担
担当	総務局国際部交流課 長町 翔太 211-2032			
全 体 計 画				
事業内容	「ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo」は、姉妹都市であるミュンヘン市との友好関係を深め、会場を訪れた市民にミュンヘンの文化に親しんでいただくなど国際理解の促進を図るとともに、地元商店街との連携を深めながら、中心市街地のにぎわい創出に資するため実施している。本事業では、「クリスマス市」を開催するため、本市、商工会議所、都心部商店街、企業、札幌国際プラザ等で設置した実行委員会に対し、本市から負担金を交付するものである。 【開催概要】 開催期間:11月下旬～12月下旬 会場:札幌大通公園2丁目(ホワイトイルミネーション会場) 物品販売:ドイツおよび地元出店者によるクリスマスグッズやドイツ工芸品等の物販と、ワイン、ソーセージ、ドイツ菓子等の飲食販売 ステージイベント:コーラス、楽器演奏、ジャグリング等 屋内イベント:ドイツ文化の紹介、ドイツ語講座等		＜年度別の事業内容＞	
			各年度において、11月から12月の開催期間中に約30ブースの店舗において物品及び飲食物の販売を行う。また、ステージでの各種イベントを展開する。	
事業内容・量・場・所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	全体計画の内容に加え、「さっぽろホワイトイルミネーション」と連携して同日スタートとし、オープニングセレモニーを合同で開催することで話題性を高め、多くの来場者を得るなどにぎわいを創出した。開催場所については当初の予定どおり、大通公園2丁目ホワイトイルミネーション会場とし、開催期間は11月22日から12月16日までの25日間。出店数は21ブース。来場者数は45万1千人。		全体計画の内容に加え、「クリスマス市」の会場デザインやさらににぎわいのあるものにするためのアイデアを募集する企画コンペティションを実施し、運営を民間委託した。また、クリスマス・イブまで開催期間を延長し、屋外休憩テントを設置する等、来場者からの要望を反映させた。「さっぽろホワイトイルミネーション」と連携して同日開始とし、会場は大通公園さっぽろ2丁目ホワイトイルミネーション会場、期間は11月28日から12月24日の27日間での開催となった。出店数23ブース。来場者数は目標を超える50万6千人。	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	全体計画の内容に加え、20年度に続き、運営に関しては企画コンペティションを実施して、運営を民間委託した。また、休前日には終了時間を30分延長し、「クリスマス市」をより長く楽しんでもらえるようにするとともに、さらにクリスマスらしい雰囲気作りができるようウェルカムアーチや手回しオルガンの設置など工夫をこらした結果、昨年を上回る57万2千人の来場者を記録した。開催期間は11月27日から12月24日までの28日間、会場は大通公園2丁目さっぽろホワイトイルミネーション会場、出店数は22ブース。		全体計画の内容に加え、昨年度に引き続き運営に関しては企画コンペティションを実施して民間委託した。昨年度はイベントの知名度が上がってきたことに加え開催期間が過去最長となったこと、海外からの出店を2店舗増やす工夫を行ったこと等により、過去最多の67万1千人の来場者を記録した。またリターナブル食器の回収率を上げるため、デポジット制を導入する等の環境に配慮した取り組みを行った。開催期間は11月26日から12月24日までの29日間、会場は大通公園2丁目さっぽろホワイトイルミネーション会場、出店数は25ブース。	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-4-1			事業名	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
来場者数	44.6万人	45.1万人	50.6万人	57.2万人	67.1万人	50万人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加          ・本事業に関しては、食器洗浄ボランティア、通訳ボランティアとして多くの市民が参加・連携しており、市民参加の場として重要な位置を占めている。          ・来場者アンケートを実施することで翌年度以降の運営に市民の意見を取り入れている。</p> <p>■企業等との連携・協働          [資金協力]22年度は約70の企業・団体から金銭的・物的協賛を得ている。          [人材協力](該当なし)          [情報協力](該当なし)          [その他の協力]実行委員として複数の地元企業・団体が、企画・立案に関わっている。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり          ボランティアの公募や手軽なプログラムの用意など、多くの市民が参加しやすい工夫をしている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>本事業は、2002年に本市とドイツ・ミュンヘン市との姉妹都市提携30周年を記念して当初1回限りで終了する予定で開始されたが、市民や観光客に好評であったため継続開催となり、2010年度で9回目の開催となった。また過去最長の開催期間となり、昨年を上回る過去最多の67万1千人を記録した。さらに、昨年度新たにクリスマス市開催に伴う札幌市経済への波及効果を試算したところ、約93億円を超える結果なったほか、来場者アンケートでは満足度が90%を超えるなど多くの支持を得ており、観光端境期となる初冬季札幌の観光集客に大きく貢献した。市民にとってはドイツ人やドイツ伝統文化に直接触れることができる貴重な機会であり、国際理解と姉妹都市交流の促進が図られている。</p>			<p>・海外からの出店を増加させる必要性          (アンケートにおいて、来場者の満足度が非常に高い中で、より一層の本場ドイツらしさを求める声も少なくない。)</p> <p>・事業運営の効率化          (企業協賛金が年々減少してきており、現在の事業を維持・発展していくためには効率的な事業運営や民間活力のさらなる導入を模索していく必要がある。)</p> <p>・大通周辺企業との連携          (大通周辺企業との連携を強化し、市内中心部の経済活性化に寄与する事業内容とする必要がある。)</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>姉妹都市ミュンヘンの文化を肌で感じる貴重な機会として、今後も本場ドイツの特色を出せるよう工夫して行く。          初冬季の札幌の経済活性化に一層寄与した事業内容とするため、大通周辺企業との連携強化を図る。          協賛金等が年々減少して行く中で現在の事業規模を維持して行くために、運営体制の見直しを行い効率的な事業運営を行っていく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-4-1			事業名	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			11,000	10,000	10,000	9,000	40,000		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0			
	一般財源			11,000	10,000	10,000	9,000	40,000		
予算	事業費			11,000	10,000	9,500	9,000	39,500		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0			
	一般財源			11,000	10,000	9,500	9,000	39,500		
実績	事業費			11,157	9,772	9,500	9,000	39,429		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0			
	一般財源			11,157	9,772	9,500	9,000	39,429		
事業費の進捗率				(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)						98.6%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										